

# 看護学部 看護学科

## 2018年度入学生カリキュラム

### <カリキュラム情報>

- ◆ **カリキュラム・ポリシー** ..... p.2  
教育課程(カリキュラム)の編成方針。学科のカリキュラムは、学科の教育目標であるディプロマ・ポリシー(学位授与方針)に沿って編成されています。学科のカリキュラム・ポリシーを見ることで、卒業までの学びの展望を持つことができます。
- ◆ **カリキュラム・マップ【武蔵野 BASIS・学科科目】** ..... p.4  
科目の分野やレベルに沿って、学科のカリキュラムの全体像を示した学びのマップ。
- ◆ **卒業所要単位数** ..... p.6  
必修科目や卒業に必要な科目区分ごとの単位数を一覧にした表。未修得の必修科目がある場合や、卒業に必要な単位数が不足する場合、卒業要件を満たすことができないため注意してください。進級基準科目(進級するために単位の修得が必要な科目)についてもあわせて確認してください。  
※総合GPAなど、卒業要件の全体は「学修の手引き」を確認してください。
- ◆ **開講表【武蔵野 BASIS】** ..... p.7  
武蔵野BASIS(全学共通基礎課程)科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。
- ◆ **開講表【学科科目】** ..... p.10  
学科科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。

### 付録：卒業所要単位表・開講表の見方

開講表の科目情報(科目名、履修条件、休講科目等)など、カリキュラム情報は科目が開講される年度により変更となる場合があります。毎年度、履修要覧に掲載される最新の情報を確認してください。

## 看護学科 カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーに基づき、学生が自分の将来の目標実現に向かって、学力および看護実践能力を高めるために必要とされる知識・技術・態度を体系的に修得できるようカリキュラムを準備しました。

1年次では、まず基本となる学力を身に付けるための教養科目である武蔵野BASISを学びます。看護学の専門的知識を学ぶ学科科目は、看護学を統合的に学べるよう6つの分野に分類して配置されています。1年次から2年次にかけて【専門基礎科目】の分野で、看護学を支える専門基礎的な知識を学ぶため、人体の構造と機能、疾病や治療、保健医療福祉、生命や医療の倫理にかかわる科目などを学びます。そして看護学の専門的内容を学ぶ分野は、【看護学・看護実践の基本】として、看護学ならびに看護専門職者としての看護実践の基本となる知識、技術、態度を学ぶ科目群が配置されています。2年次以降、人の「生・老」を中心としてヘルスプロモーションや生涯発達支援における看護実践について学ぶ【健康的な個人・家族を対象とした看護】の科目群、人の「病・死」を中心として、心身の危機的な状況や治療・回復過程にある人や慢性疾患とともに生活している人、終末期の人とその家族への看護実践について学ぶ【疾患をもつ個人・家族の看護】の科目群、集団・地域を対象とした多様な健康問題に関わるための知識・技術・態度を学ぶ【集団・地域の健康問題に関わる看護】の科目群を配置しています。さらに、4年次にはそれまでの5つの分野の学びをふまえて、生涯を通じて看護学や看護実践を探究し、社会から期待される看護実践を展開していくための基盤となる内容を【看護統合】の科目群を通じて学びます。また、「養護教諭1種」や「保健師」など自分が希望する将来の進路分野については、別途選択課程があります。さらに、心理学や薬学の知識を深めるための選択科目などが全学年を通じ開講されており、自分の取りたい科目を選択し、時間割を作成することとなります。

### 知識・専門性：学びの基礎力を基盤とした専門能力

自ら教養・基礎学力を修得し、自立的・主体的に学ぶことができる【教養・基礎学力】  
看護学の知識・技術・態度について体系的に修得し、臨床の場で適切に適用することができる【看護学の専門性】

本格的な専門教育を受ける前に、全学共通の教養教育プログラムである「武蔵野BASIS」を履修します。「武蔵野BASIS」では、大学での学修に必要な基盤的な技法と知識の修得を目的として、「建学」、「健康体育」、「情報」、「日本語リテラシー」および「外国語」を学びます。また、同プログラムの「基礎セルフディベロップメント」において、「思想・芸術」、「国際・地域」、「社会・制度」、「人間・環境」、「物質・生命」、「数理・情報」の6分野を学ぶことにより、広い視野を備えたくれた人格の形成を目指します。さらに、アクティブな知を獲得するために、学外で学修する「フィールドスタディーズ」が行われます。

看護学の専門的知識・技術・態度を身につけるため、学科目の6分野の科目を学びます。看護学の基礎となる【専門基礎科目】の科目として人の体や機能を学ぶ科目、疾病や治療に関する科目、保健学・疫学を学ぶ科目が必修科目として1-2年次に配置されています。さらに、看護学を学ぶための【看護学・看護実践の基本】【健康的な個人・家族を対象とした看護】【疾患をもつ個人・家族の看護】【集団・地域の健康問題に関わる看護】の分野の科目である「基礎看護実践論1-4」「看護倫理」、「母性・小児・成人・老年・精神・在宅・地域看護論1.2」「家族看護論」「終末期看護論」で基本的な知識を学び、各分野の「看護実践統合演習」でそれぞれの科目の知識・技術・態度を統合して学びます。また、各分野での実習科目で臨床の場への適用について学びます。さらに、4年次の【看護統合】の分野の「総合看護演習」で4年間の学びの振り返りを行います。

### 関心・態度・人格：他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力

人々の生命、価値観や信条、生活を尊重し、人々の尊厳や人権を擁護する行動がとれる【人権の尊重】  
グローバルな視点で保健・医療・福祉・看護にかかわる多様な課題を見出すことができる【課題発見力】  
看護の対象に対して積極的に関わり、必要とされる援助を計画・実施・評価することができる【主体性、実行力】  
看護専門職者として社会から期待される看護実践を遂行できるよう、自己研鑽できる基礎的能力を修得する【人格形成・使命感】

看護学を基盤とする看護専門職の役割として、対象となる人々の権利を擁護することを大切にしています。全ての学科科目においてその学習内容は包含されますが、特に「生命倫理・医療倫理学」「看護倫理」「終末期看護論」の必修科目や発展セルフディベロップメントで提供される選択科目である「セクシャリティ論」「死生学」「グリーフケア・ターミナルケア」などの選択科目で、人々の生命、生活、尊厳、人権について学びを深めます。

また、2年次で開講される【看護学・看護実践の基本】分野の「基礎看護実習」と【健康的な個人・家族を対象とした看護】分野の「ヘルスプロモーション実習」、3年次から4年次で開講される【疾患をもつ個人・家族の看護】分野の「母性看護論実習」「小児看護論実習」「成人看護論実習A」「成人看護論実習B」「老年看護論実習」「精神看護論実習」「在宅看護論実習」、【看護統合】分野の「統合実習」の10科目では、臨地の場で看護の対象となる人々と援助的に関わり看護実践を行いながら自己と他者を理解し、人々の人権の尊重、看護学の視点からの課題発見、解決、そして看護専門職者としての倫理観、自己研鑽の態度を段階的に身につけます。4年次には「看護管理論・政策論」を学び、保健・医療・福祉・看護の視点から、それまで学んできた看護学・看護実践について視野を広げていきます。

### 思考・判断：課題を多角的に捉え、創造的に考える力

看護現象について積極的に情報収集し、論理的に情報を解釈・分析・統合し、課題を妥当に判断できる【情報分析・論理的思考・判断力】  
課題に対し、エビデンスに基づいて目標設定・解決策を立案することができる【課題解決力】  
制約された条件の中で、課題に対する多様な解決策を発想できる思考を修得する【創造的思考力】

武蔵野BASISの必修科目である「コンピューター基礎1」、専門基礎科目の必修科目の「疫学総論」「保健統計学」で情報分析の基礎を学びます。看護学の専門的知識・技術を用いて看護の対象となる人々の看護上の課題を明確にする力および課題解決力を養うため、「基礎看護実践論1」でクリティカルシンキング、科学的問題解決的思考の基本を学び、その後「看護統合演習2-1(看護過程展開)」で対象特性・状況への応用を学びます。また、状況把握のためのアセスメント技術や看護学の専門技術の基本を「基礎看護実践論2」「基礎看護実践論3」「基礎看護実践論4」で学び、その後「看護実践統合演習1」「看護実践統合演習2-2(援助技術)」「看護実践統合演習(地域)」で健康問題や対象に特徴的な技術を学びます。

## 実践的スキル・表現:多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

相手の意見を傾聴し、アサーティブなコミュニケーションをとることができる【コミュニケーション力】

自らの考えや看護実践を、論理的にわかりやすくまとめて表現することができる【文章力・討議力・プレゼンテーション力】

リーダーシップを理解したうえでチームメンバーとして、対象となる人々の目標達成に向けて協調・協働することができる【チームワーク】

語学力向上として、武蔵野BASISの科目「英語1B」「英語1D」で英語の基礎を学び、その後「英語3(医療英語)」で専門分野に対応できる英語力を修得します。さらに、英語力を発展させるために選択科目として「英語4(医療英語2)」を準備しています。

学科科目では、あらゆる講義や演習科目において小グループによるディスカッションや発表を通して、コミュニケーション力、討議力やプレゼンテーション力を養う教授法がとられています。特に、「実習科目」や4年次の「看護ゼミ」においてはカンファレンスやディスカッション、レポート作成などを通して、看護実践について自己内省や考えを表現し発信するコミュニケーション力・伝達力・文章力を養います。さらに、2年次の「看護研究1」で論理的思考の基礎を学び、4年次には「看護研究2(論文)」において、これまでの実習科目での経験から導いた課題をテーマに、論理的思考プロセスと文章力を養います。また、4年次の「統合実習」や「看護管理・政策論」では、多職種の中での看護専門職としての役割を学び、組織・政策という視点から看護について考えます。

1年				2年				3・4年	
<p>☆ SD 101</p> <p>基礎セルフディベロップメント</p> <p>SD 111 法学(日本国憲法)</p> <p>SD 112 社会学</p> <p>SD 126 基礎生物</p> <p>SD 127 基礎化学</p> <p>SD 128 心理学の基礎1</p> <p>SD 129 心理学の基礎2</p> <p>SD 130 人間工学</p> <p>SD 132 家族関係論</p>				<p>セルフディベロップメント</p> <p>SD 133 ケアマネジメント論</p> <p>SD 221 ホスピタリティマインド概論</p> <p>★ SD 134 保健医療福祉行政論</p> <p>SD 222 ホスピタリティマインド各論</p> <p>SD 123 死生学</p> <p>SD 231 プレゼンテーション</p>				<p>★ SD 136 生命倫理・医療倫理学</p>	
<p>☆ CLT 101 コンピュータ基礎1</p> <p>CLT 102 コンピュータ基礎2</p>				<p>情報</p> <p>CLT 221 情報表現力1</p>					
<p>☆ ENG 102 英語1A</p> <p>☆ ENG 104 英語1C</p>				<p>英語</p> <p>★ ENG 401 英語3(医療英語1)</p>				<p>ENG 402 英語4(医療英語2)</p>	
<p>CHN 101 中国語1A</p> <p>CHN 102 中国語1B</p> <p>CHN 103 中国語1C</p> <p>CHN 104 中国語1D</p> <p>FRA 101 フランス語1A</p> <p>FRA 102 フランス語1B</p> <p>FRA 103 フランス語1C</p> <p>FRA 104 フランス語1D</p> <p>GER 101 ドイツ語1A</p> <p>GER 102 ドイツ語1B</p> <p>GER 103 ドイツ語1C</p> <p>GER 104 ドイツ語1D</p> <p>SPA 101 スペイン語1A</p> <p>SPA 102 スペイン語1B</p> <p>SPA 103 スペイン語1C</p> <p>SPA 104 スペイン語1D</p> <p>KOR 101 韓国語1A</p> <p>KOR 102 韓国語1B</p> <p>KOR 103 韓国語1C</p> <p>KOR 104 韓国語1D</p>				<p>外国語</p> <p>CHN 201 中国語2A</p> <p>CHN 202 中国語2B</p> <p>FRA 201 フランス語2A</p> <p>FRA 202 フランス語2B</p> <p>GER 201 ドイツ語2A</p> <p>GER 202 ドイツ語2B</p> <p>SPA 201 スペイン語2A</p> <p>SPA 202 スペイン語2B</p> <p>KOR 201 韓国語2A</p> <p>KOR 202 韓国語2B</p>					
<p>★ BDS 101 仏教概説</p>				<p>建学</p> <p>BDS 201 しあわせを考える</p>					
<p>AL 101/102 英語資格・検定試験対策A/B</p> <p>AL 311/312 International Lectures 1/2</p>				<p>外国語 応用</p> <p>日本語リテラシー</p> <p>☆ JL 101 日本語リテラシー</p>					
<p>HPE 101 健康体育1</p> <p>★ HPE 112 人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)</p>				<p>健康体育</p> <p>HPE 201 健康体育2</p> <p>HPE 211 オリンピック・パラリンピック文化論</p>					
<p>★ FW 101 フィールド・スタディーズ</p> <p>FW 111/112/113/114 フィールド・スタディーズ 1/2/3/4</p> <p>FW 121/122/123/124/125 海外フィールド・スタディーズ1/2/3/4/5</p>				<p>フィールド・ワーク・スタディーズ</p>					

☆ 必修(進級基準科目)  
 ★ 必修科目  
 必修科目  
 選択必修科目  
 選択科目

\*各科目の履修条件は開講表を参照

1年		2年		3年		4年	
★ NUR 101 体の働き 1 (形態)		★ NUR 102 体の働き 2 (機能)		★ NUR 103 病理学		★ NUR 491 統合実習	
★ NUR 104 薬理学		★ NUR 105 公衆衛生学		★ NUR 106 健康保健学		★ NUR 492 総合看護演習	
★ NUR 107 栄養学		★ NUR 205 疫学総論		★ NUR 208 精神保健論		★ NUR 471 看護教育論	
		★ NUR 206 保健統計学		★ NUR 209 セクシュアリティ論		★ NUR 472 専門職看護論	
				★ NUR 305 健康環境論		★ NUR 481 看護研究 2 (論文)	
				★ NUR 307 臨床栄養学			
				★ NUR 301 看護概説			
				★ NUR 302 学校保健			
				★ NUR 303 看護概説			
				★ NUR 304 学校保健			
				★ NUR 305 健康環境論			
				★ NUR 306 臨床栄養学			
				★ NUR 307 臨床栄養学			
				★ NUR 308 臨床栄養学			
				★ NUR 309 臨床栄養学			
				★ NUR 310 臨床栄養学			
				★ NUR 311 臨床栄養学			
				★ NUR 312 臨床栄養学			
				★ NUR 313 臨床栄養学			
				★ NUR 314 臨床栄養学			
				★ NUR 315 臨床栄養学			
				★ NUR 316 臨床栄養学			
				★ NUR 317 臨床栄養学			
				★ NUR 318 臨床栄養学			
				★ NUR 319 臨床栄養学			
				★ NUR 320 臨床栄養学			
				★ NUR 321 臨床栄養学			
				★ NUR 322 臨床栄養学			
				★ NUR 323 臨床栄養学			
				★ NUR 324 臨床栄養学			
				★ NUR 325 臨床栄養学			
				★ NUR 326 臨床栄養学			
				★ NUR 327 臨床栄養学			
				★ NUR 328 臨床栄養学			
				★ NUR 329 臨床栄養学			
				★ NUR 330 臨床栄養学			
				★ NUR 331 臨床栄養学			
				★ NUR 332 臨床栄養学			
				★ NUR 333 臨床栄養学			
				★ NUR 334 臨床栄養学			
				★ NUR 335 臨床栄養学			
				★ NUR 336 臨床栄養学			
				★ NUR 337 臨床栄養学			
				★ NUR 338 臨床栄養学			
				★ NUR 339 臨床栄養学			
				★ NUR 340 臨床栄養学			
				★ NUR 341 臨床栄養学			
				★ NUR 342 臨床栄養学			
				★ NUR 343 臨床栄養学			
				★ NUR 344 臨床栄養学			
				★ NUR 345 臨床栄養学			
				★ NUR 346 臨床栄養学			
				★ NUR 347 臨床栄養学			
				★ NUR 348 臨床栄養学			
				★ NUR 349 臨床栄養学			
				★ NUR 350 臨床栄養学			
				★ NUR 351 臨床栄養学			
				★ NUR 352 臨床栄養学			
				★ NUR 353 臨床栄養学			
				★ NUR 354 臨床栄養学			
				★ NUR 355 臨床栄養学			
				★ NUR 356 臨床栄養学			
				★ NUR 357 臨床栄養学			
				★ NUR 358 臨床栄養学			
				★ NUR 359 臨床栄養学			
				★ NUR 360 臨床栄養学			
				★ NUR 361 臨床栄養学			
				★ NUR 362 臨床栄養学			
				★ NUR 363 臨床栄養学			
				★ NUR 364 臨床栄養学			
				★ NUR 365 臨床栄養学			
				★ NUR 366 臨床栄養学			
				★ NUR 367 臨床栄養学			
				★ NUR 368 臨床栄養学			
				★ NUR 369 臨床栄養学			
				★ NUR 370 臨床栄養学			
				★ NUR 371 臨床栄養学			
				★ NUR 372 臨床栄養学			
				★ NUR 373 臨床栄養学			
				★ NUR 374 臨床栄養学			
				★ NUR 375 臨床栄養学			
				★ NUR 376 臨床栄養学			
				★ NUR 377 臨床栄養学			
				★ NUR 378 臨床栄養学			
				★ NUR 379 臨床栄養学			
				★ NUR 380 臨床栄養学			
				★ NUR 381 臨床栄養学			
				★ NUR 382 臨床栄養学			
				★ NUR 383 臨床栄養学			
				★ NUR 384 臨床栄養学			
				★ NUR 385 臨床栄養学			
				★ NUR 386 臨床栄養学			
				★ NUR 387 臨床栄養学			
				★ NUR 388 臨床栄養学			
				★ NUR 389 臨床栄養学			
				★ NUR 390 臨床栄養学			
				★ NUR 391 臨床栄養学			
				★ NUR 392 臨床栄養学			
				★ NUR 393 臨床栄養学			
				★ NUR 394 臨床栄養学			
				★ NUR 395 臨床栄養学			
				★ NUR 396 臨床栄養学			
				★ NUR 397 臨床栄養学			
				★ NUR 398 臨床栄養学			
				★ NUR 399 臨床栄養学			
				★ NUR 400 臨床栄養学			
				★ NUR 401 臨床栄養学			
				★ NUR 402 臨床栄養学			
				★ NUR 403 臨床栄養学			
				★ NUR 404 臨床栄養学			
				★ NUR 405 臨床栄養学			
				★ NUR 406 臨床栄養学			
				★ NUR 407 臨床栄養学			
				★ NUR 408 臨床栄養学			
				★ NUR 409 臨床栄養学			
				★ NUR 410 臨床栄養学			
				★ NUR 411 臨床栄養学			
				★ NUR 412 臨床栄養学			
				★ NUR 413 臨床栄養学			
				★ NUR 414 臨床栄養学			
				★ NUR 415 臨床栄養学			
				★ NUR 416 臨床栄養学			
				★ NUR 417 臨床栄養学			
				★ NUR 418 臨床栄養学			
				★ NUR 419 臨床栄養学			
				★ NUR 420 臨床栄養学			
				★ NUR 421 臨床栄養学			
				★ NUR 422 臨床栄養学			
				★ NUR 423 臨床栄養学			
				★ NUR 424 臨床栄養学			
				★ NUR 425 臨床栄養学			
				★ NUR 426 臨床栄養学			
				★ NUR 427 臨床栄養学			
				★ NUR 428 臨床栄養学			
				★ NUR 429 臨床栄養学			
				★ NUR 430 臨床栄養学			
				★ NUR 431 臨床栄養学			
				★ NUR 432 臨床栄養学			
				★ NUR 433 臨床栄養学			
				★ NUR 434 臨床栄養学			
				★ NUR 435 臨床栄養学			
				★ NUR 436 臨床栄養学			
				★ NUR 437 臨床栄養学			
				★ NUR 438 臨床栄養学			
				★ NUR 439 臨床栄養学			
				★ NUR 440 臨床栄養学			
				★ NUR 441 臨床栄養学			
				★ NUR 442 臨床栄養学			
				★ NUR 443 臨床栄養学			
				★ NUR 444 臨床栄養学			
				★ NUR 445 臨床栄養学			
				★ NUR 446 臨床栄養学			
				★ NUR 447 臨床栄養学			
				★ NUR 448 臨床栄養学			
				★ NUR 449 臨床栄養学			
				★ NUR 450 臨床栄養学			
				★ NUR 451 臨床栄養学			
				★ NUR 452 臨床栄養学			
				★ NUR 453 臨床栄養学			
				★ NUR 454 臨床栄養学			
				★ NUR 455 臨床栄養学			
				★ NUR 456 臨床栄養学			
				★ NUR 457 臨床栄養学			
				★ NUR 458 臨床栄養学			
				★ NUR 459 臨床栄養学			
				★ NUR 460 臨床栄養学			
				★ NUR 461 臨床栄養学			
				★ NUR 462 臨床栄養学			
				★ NUR 463 臨床栄養学			
				★ NUR 464 臨床栄養学			
				★ NUR 465 臨床栄養学			
				★ NUR 466 臨床栄養学			
				★ NUR 467 臨床栄養学			
				★ NUR 468 臨床栄養学			
				★ NUR 469 臨床栄養学			
				★ NUR 470 臨床栄養学			
				★ NUR 471 臨床栄養学			
				★ NUR 472 臨床栄養学			
				★ NUR 473 臨床栄養学			
				★ NUR 474 臨床栄養学			
				★ NUR 475 臨床栄養学			
				★ NUR 476 臨床栄養学			
				★ NUR 477 臨床栄養学			
				★ NUR 478 臨床栄養学			
				★ NUR 479 臨床栄養学			
				★ NUR 480 臨床栄養学			
				★ NUR 481 臨床栄養学			
				★ NUR 482 臨床栄養学			
				★ NUR 483 臨床栄養学			
				★ NUR 484 臨床栄養学			
				★ NUR 485 臨床栄養学			
				★ NUR 486 臨床栄養学			
				★ NUR 487 臨床栄養学			
				★ NUR 488 臨床栄養学			
				★ NUR 489 臨床栄養学			
				★ NUR 490 臨床栄養学			
				★ NUR 491 臨床栄養学			
				★ NUR 492 臨床栄養学			
				★ NUR 493 臨床栄養学			
				★ NUR 494 臨床栄養学			
				★ NUR 495 臨床栄養学			
				★ NUR 496 臨床栄養学			
				★ NUR 497 臨床栄養学			
				★ NUR 498 臨床栄養学			
				★ NUR 499 臨床栄養学			
				★ NUR 500 臨床栄養学			

★ 必修科目/全員履修科目      必修科目群  
 選択科目群

※ 各科目の履修条件は開講表を参照  
 ※ 保健師科目に関して、詳しくは別紙（資格課程履修ガイド）を参照

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野BASIS ( 22 )	必 修 ( 22 )	【建学科目】 仏教概説 [4単位]	4
		【情報科目】 コンピュータ基礎1 [1単位] ☆	1
		【健康体育科目】 人生の歩き方を考える(キャリアデザイン) [1単位]	1
		【外国語】 英語1A、英語1C [2単位] ☆ 英語3 (医療英語1) [2単位]	4
		【日本語リテラシー】 日本語リテラシー [1単位] ☆	1
		【セルフディベロップメント】 【1年次】基礎セルフディベロップメント [6単位] ☆ 【2年次】発展セルフ「福祉を学ぶ②保健医療福祉行政論」 [2単位] 【3年次】発展セルフ「生死に学ぶ②・生命倫理・医療倫理学」 [2単位]	10
		【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】 フィールド・スタディーズ [1単位]	1
学科科目 ( 91 )	必 修 ( 91 )	【専門基礎科目】 [21単位]	91
		【看護学・看護実践の基本】[13単位]	
		【健康的な個人・家族を対象とした看護】[13単位]	
		【疾患をもつ個人・家族の看護】[31単位]	
		【集団・地域の健康問題に関わる看護】[5単位]	
	【看護統合】[8単位]		
自由選択科目 ( 11 )		以下の科目から11単位以上を修得すること ①武蔵野BASIS (所要22単位を超えて修得した単位) ②学科科目 (所要91単位を超えて修得した単位) ③資格取得科目 (教職課程の科目) ④他学部・他学科履修許可科目 ⑤本学通信教育部で開講する認定心理士資格取得に必要な科目	11
合 計			124

※ BASIS進級基準科目(☆) 武蔵野BASISの進級基準科目を未修得の場合、進級要件に抵触し、次の学年に進級することができません。

※ 開講科目の名称は課程年度により変更となる場合があります。科目の名称変更と対応関係については開講表を確認してください。

※ 履修計画を立てる際には、必ず「学修の手引き」の「履修計画」や「履修登録」を参照してください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【建学科目】						
BDS 101	仏教概説	1年	4			
BDS 201	しあわせを考える	2年		2		
【健康体育科目】						
HPE 101	健康体育1	1年		1		※1 2020年度以降は「スポーツと身体科学」を履修して読替
HPE 201	健康体育2	2年		1		※1 2020年度以降は「フィールド・スポーツ」を履修して読替
HPE 211	オリンピック・パラリンピック文化論	2年		2		
HPE 112	人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	1年	1			
【情報科目】						
CLT 101	コンピュータ基礎1	1年	1			進級基準科目 2020年度以降は「データ・情報リテラシー」を履修して読替
CLT 102	コンピュータ基礎2	1年		1		※1 2020年度以降は「メディア・人工知能リテラシー」を履修して読替
CLT 211	情報分析力1	2年		1		2020年度休講
CLT 212	情報分析力2	2年		1		2020年度休講
CLT 221	情報表現力1	2年		1		
CLT 222	情報表現力2	2年		1		2020年度休講
【外国語 英語】						
ENG 102	英語1A	1年	1			進級基準科目
ENG 104	英語1C	1年	1			進級基準科目
ENG 401	英語3(医療英語1)	2年	2			前期:1時限 3学期:なし 4学期:2時限連続開講
ENG 402	英語4(医療英語2)	3年		1		
【外国語 初修】						
CHN 101	中国語1A	1年		1	①中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語1A~1Dにおいて ◆通年の履修が必須。(1A+1Cのセットで履修、1B+1Dのセットで履修、または1A~1Dの全てを履修の3パターンのいずれか) ◆その言語を母語とする者および、その言語を公用語とする国に1年以上の滞在経験がある者は履修不可	
CHN 102	中国語1B	1年		1		
CHN 103	中国語1C	1年		1		
CHN 104	中国語1D	1年		1		
CHN 201	中国語2A	2年		1	②中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語2A・2Bにおいて ※第二外国語クラスは2Cおよび2Dの開講はありません。 ◆通年の履修が必須。(2A+2Bのセットで履修) ◆その言語を母語とする者および、その言語を公用語とする国に2年以上の滞在経験がある者は履修不可	
CHN 202	中国語2B	2年		1		
CHN 203	中国語2C	2年		1		
CHN 204	中国語2D	2年		1		
FRA 101	フランス語1A	1年		1		
FRA 102	フランス語1B	1年		1		
FRA 103	フランス語1C	1年		1		
FRA 104	フランス語1D	1年		1		
FRA 201	フランス語2A	2年		1		
FRA 202	フランス語2B	2年		1		
FRA 203	フランス語2C	2年		1		
FRA 204	フランス語2D	2年		1		
GER 101	ドイツ語1A	1年		1		
GER 102	ドイツ語1B	1年		1		
GER 103	ドイツ語1C	1年		1		
GER 104	ドイツ語1D	1年		1		
GER 201	ドイツ語2A	2年		1		
GER 202	ドイツ語2B	2年		1		
GER 203	ドイツ語2C	2年		1		
GER 204	ドイツ語2D	2年		1		
SPA 101	スペイン語1A	1年		1		
SPA 102	スペイン語1B	1年		1		
SPA 103	スペイン語1C	1年		1		
SPA 104	スペイン語1D	1年		1		
SPA 201	スペイン語2A	2年		1		
SPA 202	スペイン語2B	2年		1		
SPA 203	スペイン語2C	2年		1		
SPA 204	スペイン語2D	2年		1		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
KOR 101	韓国語 1 A	1年		1		
KOR 102	韓国語 1 B	1年		1		
KOR 103	韓国語 1 C	1年		1		
KOR 104	韓国語 1 D	1年		1		
KOR 201	韓国語 2 A	2年		1		
KOR 202	韓国語 2 B	2年		1		
KOR 203	韓国語 2 C	2年		1		
KOR 204	韓国語 2 D	2年		1		
【外国語応用】						
AL 311	International Lectures 1	1・2・3・4年		1		
AL 312	International Lectures 2	1・2・3・4年		1	◆International Lectures1を履修していること。	
AL 101	英語資格・検定試験対策A	1年		1		
AL 102	英語資格・検定試験対策B	1年		1		
【日本語リテラシー】						
JL 101	日本語リテラシー	1年	1			進級基準科目
【セルフディベロップメント科目】						
<基礎セルフディベロップメント>						
SD 101	基礎セルフディベロップメント	1年	6			進級基準科目
<発展セルフディベロップメント>						
	社会の仕組みを学ぶ					
SD 111	①法学（日本国憲法）	1年		2		※1 ※2
SD 112	②社会学	1年		2		
	科学の基礎を学ぶ					
SD 126	①基礎生物	1年		2		
SD 127	②基礎化学	1年		2		
	心理の基礎を学ぶ					
SD 128	①心理学の基礎 1	1年		2	◆「心理の基礎を学ぶ②心理学の基礎2」をセットで履修すること	
SD 129	②心理学の基礎 2	1年		2	◆「心理の基礎を学ぶ①心理学の基礎1」をセットで履修すること	
	人間環境を学ぶ					
SD 130	①人間工学	1年		2		
SD 131	②薬品と生活	1年		2		2020年度休講
	福祉を学ぶ					
SD 133	①ケアマネジメント論	2年		2		
SD 134	②保健医療福祉行政論	2年	2			
	人間を学ぶ					
SD 132	①家族関係論	1年		2		
SD 135	②ライフサイクル論	2年		2		2020年度休講
	生死に学ぶ					
SD 123	①死生学	2年		2		
SD 136	②生命倫理・医療倫理学	3年	2			
	心理を学ぶ					
SD 137	①医療心理学	3年		2		2020年度休講
SD 138	②グリーフケア・ターミナルケア	3年		2		2020年度休講
SD 221	ホスピタリティマインド概論	2年		2		
SD 222	ホスピタリティマインド各論	2年		2		
SD 231	プレゼンテーション	2年		2		
【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】						
FW 101	フィールド・スタディーズ	1年	1			
FW 111	フィールド・スタディーズ1	1年		1		
FW 112	フィールド・スタディーズ2	1年		2		
FW 113	フィールド・スタディーズ3	1年		3		
FW 114	フィールド・スタディーズ4	1年		4		
FW 121	海外フィールド・スタディーズ1	1年		2		学外学修の活動日数に応じて、単位修得できる科目が決定します。 履修登録は不要です。
FW 122	海外フィールド・スタディーズ2	1年		3		
FW 123	海外フィールド・スタディーズ3	1年		4		
FW 124	海外フィールド・スタディーズ4	1年		5		
FW 125	海外フィールド・スタディーズ5	1年		6		



科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【インターンシップ科目】						
INT 201	インターンシップ (事前研究)	2年		1	◆シラバスや初回授業に実施するガイダンスで 確認すること	
INT 211	インターンシップ1	2年		1		
INT 212	インターンシップ2	2年		2		
INT 213	インターンシップ3	2年		4		
INT 214	インターンシップ4	2年		6		
INT 221	海外インターンシップ1	2年		4		
INT 222	海外インターンシップ2	2年		6		
INT 223	海外インターンシップ3	2年		8		

※1 看護教諭 (1種・2種) は必修

※2 保健師は必修

履修条件については、「学修の手引き」を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
<b>【専門基礎科目】</b>						
NUR 101	体の働き1 (形態)	1年	1			
NUR 102	体の働き2 (機能)	1年	1			
NUR 103	病理学	1年	2			
NUR 211	疾病治療論1 (急性期)	1年	2			
NUR 212	疾病治療論2 (慢性期)	2年	2			講義日程は別途掲示
NUR 213	疾病治療論3 (母子)	2年	2			講義日程は別途掲示
NUR 214	疾病治療論4 (感染と免疫)	2年	1			講義日程は別途掲示
NUR 215	疾病治療論5 (精神)	2年	1			
NUR 107	栄養学	1年	1			
NUR 104	薬理学	1年	2			
NUR 105	公衆衛生学	1年	2			
NUR 205	疫学総論	2年	2			
NUR 206	保健統計学	2年	2			
NUR 106	健康保健学	1年		2		※2
NUR 305	健康環境論	3年		2		※1 ※2
NUR 307	臨床栄養学	3年		1		※1 講義日程は別途掲示
NUR 208	精神保健論	2年		1		
NUR 209	セクシュアリティ論	2年		1		
<b>【看護学・看護実践の基本】</b>						
NUR 121	看護学概論	1年	2			
NUR 225	基礎看護実習	2年	3			
NUR 221	基礎看護実践論1 (看護実践の基礎)	1年	1			
NUR 222	基礎看護実践論2 (ヘルスアセスメント技術)	1年	2			
NUR 223	基礎看護実践論3 (生活行動援助技術)	2年	2			
NUR 224	基礎看護実践論4 (看護実践基礎技術)	2年	2			
NUR 122	看護倫理	1年	1			
<b>【健康的な個人・家族を対象とした看護】</b>						
NUR 231	地域看護論1	2年	2			
NUR 232	成人看護論1	2年	1			
NUR 233	老年看護論1	2年	2			
NUR 234	精神看護論1	2年	1			
NUR 235	母性看護論1	2年	2			
NUR 236	小児看護論1	2年	1			
NUR 237	家族看護論	3年	1			
NUR 238	看護実践統合演習1	2年	1			
NUR 239	ヘルスプロモーション実習	2年	2			
<b>【疾患をもつ個人・家族の看護】</b>						
NUR 241	成人看護論2A (急性期看護)	2年	2			
NUR 341	成人看護論2B (慢性期看護)	3年	2			
NUR 343	老年看護論2	3年	1			
NUR 342	在宅看護論	2年	2			
NUR 357	看護実践統合演習2-1 (看護過程展開)	3年	1			
NUR 358	看護実践統合演習2-2 (援助技術)	3年	2			
NUR 344	精神看護論2	2年	2			
NUR 347	終末期看護論	4年	1			講義日程は別途掲示
NUR 345	母性看護論2	3年	1			
NUR 346	小児看護論2	3年	2			
NUR 353	老年看護論実習	3年	2			
NUR 354	精神看護論実習	3年	2			
NUR 355	母性看護論実習	3年	2			
NUR 356	小児看護論実習	3年	2			
NUR 351	成人看護論実習A (急性期)	3年	2			
NUR 352	成人看護論実習B (慢性期)	3年	2			
NUR 451	在宅看護論実習	4年	3			

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
<b>【集団・地域の健康問題に関わる看護】</b>						
NUR 361	地域看護論2	3年	2			
NUR 362	看護実践統合演習（地域）	3年	1			
NUR 462	看護管理・政策論	4年	1			
NUR 461	看護ゼミ	4年	1			
PHN 461	公衆衛生看護管理論	4年		1		※2
PHN 462	公衆衛生看護診断論演習	4年		1		※2
PHN 463	公衆衛生看護論実習	4年		2		※2
<b>【看護統合】</b>						
NUR 471	看護教育論	4年		1		2020年度休講
NUR 472	専門職看護論	4年		1		2020年度休講
NUR 281	看護研究1	2年	1			講義日程は別途掲示
NUR 481	看護研究2（論文）	4年	3			
NUR 492	総合看護演習	4年	1			
NUR 491	統合実習	4年	3			
<b>【自由選択科目】</b>						
<b>【心理コース】</b>						
PSY 221	認知心理学1	2年		2	「認定心理士」資格取得のためには、看護学部の【心理コース】科目と本学通信教育部の該当科目も併せて必修。	※3
PSY 222	認知心理学2	2年		2		※3
PSY 330	カウンセリング論	3年		2		※3
PSY 334	心理療法論	4年		2		※3
<b>【医薬コース】</b>						
MED 101	医療美粧論	1年		2		
MED 301	薬物療法学	3年		1		
MED 302	一般用医薬品学	3年		2		
MED 401	生薬療法（漢方）	4年		2		
MED 402	臨床医薬品概説	4年		2		
<b>【養護教諭コース】</b>						
SNP 301	養護概説	3年		2		※1
SNP 302	学校保健	3年		2		※1

※1 養護教諭（1種）は必修

※2 保健師は必修

※3 認定心理士は必修

履修条件については、「学修の手引き」の説明を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

※ 単位を落とした必修科目に関しては、その科目に対応する「○○○」再履修クラス（○○○は科目名）を履修すること。

例：栄養学を落とした場合、「栄養学 再履修クラス」を履修。別途掲示を参照し、受講方法を確認すること。

但し、資格必修科目を再履修する場合は「再履修クラス」ではなく通常の科目を各自履修登録すること。

## 通信教育部 ※3「認定心理士」資格取得のための必修科目

開講表

2020年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
—	心理測定法	1年		4	◆通信科目ガイダンス（4月）に出席	※3
—	パーソナリティ心理学	2年		4	◆通信科目ガイダンス（4月）に出席	※3
—	心理学実験実習1	2年		2	◆通信科目ガイダンス（4月）に出席	※3
—	心理学実験実習2	4年		2	◆通信科目ガイダンス（4月）に出席	※3
—	発達心理学	3年		4	◆通信科目ガイダンス（4月）に出席	※3
—	臨床心理学	3年		4	◆通信科目ガイダンス（4月）に出席	※3
—	社会心理学	3年		4	◆通信科目ガイダンス（4月）に出席	※3

※3 認定心理士は必修

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件	備考
			必修	選択		
【文系セルフディベロップメント科目】						
SD 201	芸術のすすめ	2年		2		キャンパスによって開講期が異なります。
SD 202	数学的ものの考え方	2年		2		
SD 203	社会現象を分析する	2年		2		
SD 204	環境学への展望	2年		2		
SD 205	人間の心理を探る	2年		2		
SD 206	生命科学と人間	2年		2		
SD 207	市民の社会貢献	2年		2		
SD 208	市民生活と権利を考える	2年		2		
SD 209	現代メディアの探求	2年		2		
SD 210	社会情報と生活	2年		2		
SD 211	日本の歴史	2年		2		
SD 212	外国の歴史	2年		2		
SD 213	哲学への探索	2年		2		
SD 214	文化人類学への誘い	2年		2		
SD 215	文学を読み解く楽しみ	2年		2		

## 【付録：卒業所要単位表・開講表の見方】

学科・課程年度によって武蔵野BASIS、学科科目の必修・選択必修・選択の区分、構成が異なります。各自、自身の学科・課程年度の卒業所要単位表・開講表を確認してください。

### ●卒業所要単位表

〇〇学部 △△学科 -20XX年度入学生-

卒業所要単位数

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野BASIS	必修	単位区分に応じた科目名又は科目群	
	選択必修		
学科科目	必修		
	選択必修		
	選択		
自由選択科目※			以下の科目から〇〇単位以上を修得すること ①武蔵野BASIS（所要△△単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要××単位を超えて修得した単位） ・ ・ ・

武蔵野BASISのうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

学科科目のうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は学科選択に含まれます。

学科選択科目に必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

※自由選択科目の区分の有無と対象となる科目の構成は学科・課程年度によって異なります。

### ●開講表

自身の学部・学科、コース、課程年度（入学年度）であるか確認してください。

<公開年度>

年度によって科目の休講・廃止等があるため、最新年度の開講表を確認してください。

〇〇学部 XX学科 △△△△△△△コース -20XX年度入学生-

開講表 [学科科目]

20XX年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
<b>【基礎科目群】</b>						
ABCD 101	××基礎 1	1年		2	◆全員履修	
ABCD 102	ゼミナル	1年	1		◆全員履修	
ABCD 103	XX学入門	1年		2		
ABCD 104	□□論 1	1年		1		
ABCD 201	□□論 2	2年		1		休講
ABCD 106	◎◎学	1年		1	◇××基礎 1を履修していること	
AABB 106	◇◇法	1年		2		
AABB 101	○△□論	1年		2		4科目の中から2科目 選択必修
AABB 102	□□論 1	1年		2		
GHIJ 104	△△学理論	1年		2		
<b>【基幹科目群】</b>						
PJK 101	○○学理論	1年		2		
PJK 102	△○学理論	1年		2		
CDR 101	◇◇学理論	1年		2		
CDR 206	□□論 2	2年		2	◆□□論 1を履修していること	

科目の分類を表します。

<開講年次>  
履修が可能となる学年。  
(上位学年の科目は履修できません。)

<科目番号 (ナンバリング)>

カリキュラムの体系的・段階的な構成を示すため、科目にはレベル、学問分野に基づいた科目番号が付けられています。ナンバリングを参考にすることで、学修の段階・レベルを意識して履修計画を立てることができます。レベルの詳細は、学修の手引きの「単位と科目」ページにある「ナンバリング (科目番号)」を確認してください。

<単位数>

必修科目の場合「必修」欄に、選択必修科目・選択科目の場合は「選択」欄に単位数が入っています。

<履修条件>

科目によっては、学習効果を高めるために、学修の段階に応じた履修条件が設定されています。設定されている場合は、開講表の履修条件欄、又はシラバスに記載されています。

<備考>

選択必修や休講科目の情報など、科目の補足情報が記載されています。